

平成 24 年 2 月

各 位

新宮市教育委員会

文化振興課長 中岡 保仁

(公印省略)

「第 5 回熊野学サミット」の開催について (ご案内)

謹啓 春寒の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から、当市の文化振興に対しまして種々のご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新宮市教育委員会では、和歌山県、NHK、中央各紙等のご後援をいただき、「第 5 回熊野学サミット “でも、明日がある 熊野がある～静かに覚悟をかためよう～”」を下記のとおり開催いたします。

本サミットは、熊野の価値や魅力を紐解くことはもとより、東日本大震災や紀伊半島大水害などの災厄を踏まえたものです。祭りや歌謡、舞踊などの「伝統文化」が心の拠り所となり、地域の人々をつなぐ「絆」の基礎となることなど、各分野で活躍されている講師の方々に幅広く語っていただきます。

さらに、同日開催のパネル展示では、熊野の植生の特色を興味深く説いており、サミット終了後には、パネルを前にして植生についてのギャラリートークも行われます。

つきましては、本サミット開催について、関係の方々に周知賜り、観覧・聴講いただきたく、ご配慮お願いできれば幸いに存じます。ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

謹白

記

1. 日 時 平成 24 年 2 月 25 日 (土) 13:00～
2. 会 場 新宮市職業訓練センター (新宮市春日 1-35)
3. 内 容 “でも、明日がある 熊野がある～静かに覚悟をかためよう～”
※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

(問合せ・連絡先)

新宮市教育委員会 文化振興課

和歌山県新宮市春日 1-1

TEL: 0735-23-3368・FAX: 0735-23-3370

第5回 熊野学サミット 静かに覚悟をかためよう

検索



~でも、明日がある 熊野がある~

2012年 **2月25日(土)**

開場12:00 開演13:00

会場：新宮市職業訓練センター
入場無料

再生できると、どれだけの人が考えただろう。
でも、明日があった。熊野があった。夢はこれからつくる
ものだ。きっと地球の未来図を先取りして生かされている
のだ。
熊野は、それを私たちに見せてくれる。

くまの せうだ
熊野円座

「文化って 涙が出ますね」

山折 哲雄さん(宗教学者)
赤坂 憲雄さん
鎌田 東二さん
林 信夫さん(まちづくりプロデューサー)
田岡 実千年(新宮市長)

基調講演



「災害と宗教」

赤坂 憲雄さん
学習院大学教授
東日本大震災復興構想会議委員

特別講演



「『あらたま』の 果てなす国から蘇れ！」

鎌田 東二さん
京都大学こころの未来研究センター教授

同日開催 **パネル展**

花の正倉院～紀伊山地は貴重な植物の宝庫～
瀧野ギャラリートーク 16:30～
監修：熊野学研究会委員 瀧野 秀二

でも、明日がある 熊野がある

2012年2月25日(土) 13:00(開場12:00)

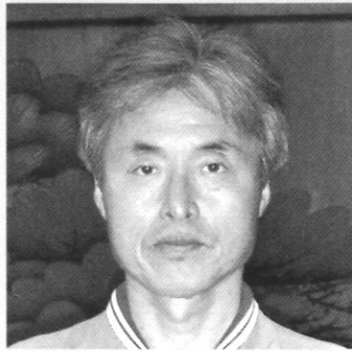
会場：新宮市職業訓練センター
主催：新宮市教育委員会

入場
無料



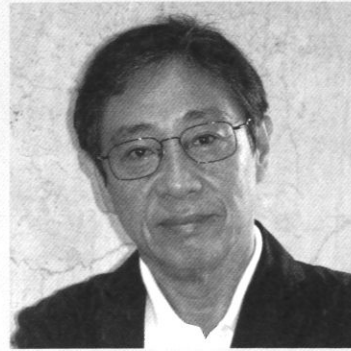
赤坂 憲雄(民俗学者)

1953東京都生まれ。現在、学習院大学教授。福島県立博物館館長。遠野文化研究センター所長。東日本大震災復興構想会議委員。専門は東北文化論と日本思想史。「東北学」を掲げて、地域学の可能性を問いかけてきたが、最近では、新たな近代思想史へのアプローチの道を探り始めている。著書に、『異人論序説』『山の精神史』『東北学/忘れられた東北』『東西/南北考』など多数。



鎌田 東二(宗教学者)

1951年徳島県生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程神道学専攻修了。国際日本文化研究センター客員助教授、ダブリン大学(アイルランド)ケルティック・スタディーズ客員研究員を歴任。現在、京都大学こころの未来研究センター教授。NPO法人東京自由大学理事長。著書に『宗教と靈性』『謎のサルタヒコ』『靈性の文学 言葉の力』など多数。



林 信夫(まちづくりプロデューサー)

1946年大阪府生まれ。日本初のイベント情報誌「プレイガイドジャーナル」創刊に関与、同誌の二代目編集長に就任。「大阪市政100周年記念式典」「世界民族芸能祭」など自治体主催の事業を多数プロデュース。「平城遷都1300年祭」では、県内広域事業プロデューサーとしてイベントを成功させる。現在、21世紀ディレクターズユニオン代表。



山折 哲雄(宗教学者)

1931年サンフランシスコ生まれ。東北大学インド哲学科卒業。同大学院文学研究科博士課程修了。国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター所長などを歴任。現在、同センター名誉教授。著書に『道元』『こころの作法』『山折哲雄セレクション 生きる作法(1) - 無常の風に吹かれて』『絆 いま、生きるあなたへ』など多数。

基調講演

13:10~13:50

災害と宗教

赤坂 憲雄

特別講演

14:00~14:40

『あらたま』の果てなす国から蘇れ!

鎌田 東二

熊野円座

(くまのわろうだ)

14:50~16:30

文化って涙が出ますね

山折哲雄・赤坂憲雄・鎌田東二・林 信夫・田岡実千年

同日開催(当日限り)

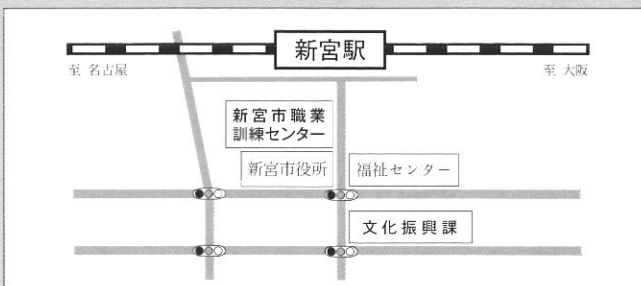
花の正倉院 パネル展

~紀伊山地は貴重な植物の宝庫~

♥めったに聴けません(^^)

〈瀧野ギャラリートーク〉16:30~

監修：熊野学研究委員会委員 瀧野 秀二



第4回サミット(昨年度)の来場者感想

- 「熊野学」を地域に浸透させ、継承させるためにも、さらに学校教育の中でとりあげて頂くことはできないかと考えます。「熊野」の大切な歴史・文化を、子どもたちがあまり知らないまま、ふるさとを離れてしまうのは、不幸な事ではないかと考えます。
那智勝浦町在住・40歳代男性
- 熊野に現世の浄土を築き、世界に発信することにより、混迷の中で苦しむ人々に一つの気付きを示すことができないかと考えはじめています。また、日本の再生につなげることができると思います。
新宮市在住・60歳代男性
- なぜ自分が熊野にひかれるのか。刈谷俊介さんの「心」の話聞いて、その理由が少しわかった気がする。
本宮町在住・50歳代男性
- 熊野学を地域の発展につなげていく具体策を早く作り出し、地域を活性化させることが必要だと思います。
那智勝浦町在住・70歳代男性

●問合せ 新宮市 文化振興課 TEL 0735-23-3368